

変革・創造・実践

MONTHLY ZEN-NOH GUNMA

県本部通信

2016
January

No.166

1



特集

新年のご挨拶



JA全農ぐんま

私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。



事業のうごき 1

営農総合支援センター

- 豪雪被害に係る野菜の生産支援
- JA-TAC活動及び担当者の育成支援
- 担い手対策のための取り組み
- 農産物の安全・安心対策

畜産農産部

酪農畜産課

- 生乳の計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進
- 渋川家畜市場若齢子牛の集荷推進
(優良ET卵産子の活用促進)

米麦特産課

- こんにゃく荒粉・精粉販売推進(入札の実施)
- 菌茸類種駒・種菌予約推進

園芸部

園芸販売課

- 共計ほうれん草販売 (周年)
- 共計チンゲンサイ販売 (周年)
- 共計味にら販売 (周年)
- 共計下仁田ねぎ販売 (1月末日迄)
- 共計上州ねぎ販売 (2月末日迄)
- 共計春菊販売 (3月上旬迄)
- 共計泥ねぎ販売 (3月中旬迄)
- 共計白ねぎ販売 (3月末日迄)

販売促進課

- 秋冬野菜販売促進
- もやし類・加工野菜販売促進
- 花き販売促進

園芸資材課

- 雪害施設工程確認と進捗管理
- 雪害施設被害復旧業務全般
- ハウス用更新資材戸別推進(農ビ・農ポリ等)
- コンニャク用マルチ予約とりまとめ
- 冬春用出荷資材予約推進
(ほうれん草・山うど・アスパラ他)

- 青果物段ボール予約注文取りまとめ
- 冬春用野菜種子推進
(ほうれん草・ねぎ・きゅうり)
- 種馬鈴薯納品(12月上旬～1月末迄)

生産資材部

生産資材部

- 売出し・フェアの実施
☆花木流通センター
1月6日・13日・20日・27日(水) 水曜米特売日
1月23日(土) 午前市
1月30日(土) 洋蘭フェア
☆愛菜館
1月6日・13日・20日・27日(水) 水曜肉特売日
1月8日(金) 18日(月) 28日(木) 8の日お米特売
1月23日(土) 午前市

肥料農薬課

- セルフブレンド推進
- 施設園芸肥料推進
- 水稻培土早期引取推進
- 麦作除草剤推進
- 果樹農薬推進

生活部

生活課

- 太陽光発電推進 (周年)
- 全農日本のお茶ペットボトル推進 (周年)
- 仕込み味噌推進 (10月～3月)
- 蔵出しいよかん・せとか推進 (1月～2月)

葬祭総合課

- 生花利用拡大運動 (周年)

施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)
- カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)
- 住友不動産(株)
「新築そっくりさん」推進 (周年)

新年のご挨拶

新春のお慶びを 申し上げます



新年、明けましておめでとうございます。

J A全農ぐんまを代表いたしまして、新年のご挨拶を申し上げます。

日頃は、系統経済事業に対しまして、ご理解とご協力をいただいておりますことに、厚くお礼を申し上げます。

近年、日本の食や農業については、和食が世界文化遺産になるなど、非常に関心が高まっています。J Aグループ群馬では昨年、「ミラノ国際博覧会」に群馬県と協力して出展させていただき、世界中に群馬県の食や農業をPRしてまいりました。群馬県のコーナーは非常に人気で、海外からの群馬の食や農業への関心の高さを感じました。

一方、国内の農業情勢に目を向けますと、昨年は、TPP交渉の大筋合意、改正農協法の成立、突風や降雹などの度重なる自然災害の発生等、農業やJ Aグループにとっては、非常に厳しい一年となりました。TPP交渉については、これからの日本の農業だけでなく、食の安全が損なわれる危険性があるため、皆さまにもぜひ関心を持っていただきたいと思います。

群馬県は首都圏に近く、長い日照時間と標高差を生かし、平成25年の群馬の農畜産物は生産量

で全国5位以内のものが20品目もございます。年間の農業産出額は約2,303億円で推移しておりまして、うち野菜と畜産で全体の8割を占める農業県でございます。

そのような中、J Aグループ群馬では、昨年の11月、今後3か年の基本方針を決定する「第40回J A群馬県大会」を開催いたしました。この大会では、主題を「組合員が実感できる自己改革の実践」とし、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に取り組んでいくことを決議いたしました。J Aグループ群馬の自己改革の実践に向け、この大会において決定した事にしっかりと取り組み、農業の発展と地域に愛される協同組合を目指してまいります。

また、J A全農ぐんまといたしましては、前述の基本目標の達成に向け、J Aと共同し、一般消費者や外食産業、食品加工業者らから支持される安全・安心な農畜産物づくりに取り組みます。また販売力の強化、担い手のニーズに応じた営農支援や生産コストの低減も積極的に進めてまいります。

さらに、安心して食べられる群馬県産農畜産物を皆さまへお届けし、「生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋」として本年も努力してまいりますので、県産農畜産物を取り巻く状況と消費拡大へのご理解・ご協力をお願い申し上げご挨拶とさせていただきます。



全国農業協同組合連合会 群馬県本部
運営委員会会長 **大澤 憲一**



第2回JAグループ野菜生産対策会議
(12.3 JAビル)



農産物の安全・安心対策担当者会議
(12.3 JAビル)

■野菜生産振興へ向け具体策を協議

12月3日(木)、群馬県営農総合支援センター主催の「第2回JAグループ野菜生産対策会議」が開催され、12JA・県・中央会・当県本部の担当者約40名が出席しました。会議では、野菜振興取組実績の報告が行われたほか、各JAより振興具体策や加工・業務用野菜の取組状況等が発表されました。また、次期3ヶ年の新たな野菜振興計画作成についての説明も行われ、担当者間で情報の共有が図られました。

■食の安全確保対策を強化

12月3日(木)、群馬県営農総合支援センター主催の「農産物の安全・安心対策担当者会議」が開催され、14JA・県・当県本部の担当者約40名が出席しました。会議では、生産履歴記帳支援システムの稼働状況やGAP(農業生産工程管理)手法の導入・普及へ向けた取り組み説明のほか、各JAによる農産物の安全・安心対策への取組状況報告が行われ、成果や改善点を確認しました。



JAアシストホールたかさき寄せ植え講習会
(12.14 JAアシストホールたかさき)



ちびっこ餅つき大会
(12.29 花木流通センター)

■お正月用の寄せ植え作りに挑戦

12月14日(月)、JAアシストホールたかさきにおいて「寄せ植え講習会」が開催され、JAたかさき女性会やねりん倶楽部の会員156名が参加しました。講習会では、花木流通センターの職員を講師に迎え、ガーデンシクラメン・ネメシア・ハボタンなど7種類の花を用いて鮮やかなお正月用寄せ植えを作りました。完成した作品を前に参加者からは、「きれいにできた。玄関に飾ろうと思う。」と嬉しそうな声があがりました。

■年末恒例「お餅つき」を楽しむ

12月29日(火)、花木流通センターにて「ちびっこ餅つき大会」が開催され、約40名が参加しました。この催しは、お客様への日頃の感謝の気持ちを込めて毎年開催されています。子供たちは、杵と臼を使い、家族の声援を受けながら力いっぱいお餅をつきました。つきたてのお餅は、その場できな粉餅や辛み餅として参加者に振る舞われ、「やわらかくておいしい。」と大好評でした。



新年祝賀会
(1.4 JAビル)



渋川家畜市場初市式
(1.8 渋川家畜市場)

■新たな決意で新年スタート

1月4日(月)、平成28年の仕事始めにあたり「新年祝賀会」が執り行われ、JA群馬中央会・各連合会の役職員等約400名が出席しました。大澤会長は「昨年は、農業やJAグループにとって非常に厳しい1年であった。」と指摘すると共に、「JAグループの自己改革の実践に向けしっかりと取り組み、地域に愛される協同組合を目指す。」と挨拶し、一致団結して挑む決意を新たにしました。

■市場の盛況を祈願

1月8日(金)、平成28年の初せりにあたり「渋川家畜市場初市式」が開催されました。式典では、当県本部畜産農産部の掛川部長と県農政部畜産課の野呂課長が代表して挨拶し、日頃の感謝と新年の抱負を述べました。また、群馬県JA繁殖和牛部連絡協議会の八木原会長による景気づけも行われ、今年1年の活気ある取引と畜産振興を祈願しました。

「上州牛」銘柄確立へ向け 高品質な枝肉が競い合う

牛肉消費の最需要期となる12月、安全性と品質の高い牛肉を展示・PRすることにより、県産牛肉の知名度を高め、畜産経営の活性化を図ることを目的に、各団体の共進会が(株)群馬県食肉卸売市場を会場に開催されました。各共進会とも優秀な枝肉が多数出品され、生産者の飼養管理技術の高さがうかがえました。最優秀賞を受賞した方々をご紹介します。

●第23回群馬ふれあいミートフェスタ 群馬県枝肉共励会(肉牛の部) (12月7日(月))

(主催：群馬県食肉品質向上対策協議会)
「和牛の部」加藤 憲一 (JAにったみどり)
「交雑種の部」島崎 和洋 (JAにったみどり)



▲ 表彰式の様子

●第54回上州牛枝肉展示会(12月14日(月))

(主催：(株)群馬県食肉卸売市場)
「黒毛和種の部」(株)加藤ファーム (JAにったみどり)
「交雑種の部」朝岡 瑠美 (JA前橋市)



▲ 挨拶する(株)群馬県食肉卸売市場境野社長

●第21回肉牛枝肉共進会(12月21日(月))

(主催：群馬県JA肉牛肥育部連絡協議会)
「黒毛和種の部」(株)加藤牧場 (JAにったみどり)
「交雑種の部」(株)加藤ファーム (JAにったみどり)



▲ 両部門で最優秀賞を受賞した加藤さん

みどりの風 放映予定

GTV 48ch 放映のお知らせ

番組名／提供	放送日 ※再放送日	時間
甘みたっぶり! 邑美人／JA邑楽館林	※ 1月31日(日)	AM 8:00～8:30
群馬の名産を世界へ! ミラノ国際博覧会／JA群馬中央会	2月1日(月)	PM 9:00～9:30
	※ 2月7日(日)	AM 8:00～8:30



山部 朱里アナ

群馬の「おいしい」が大集結! JAまるしえで消費拡大イベントを開催



当県本部は、12月3日(木)～4日(金)の2日間、大手町JAビルの農業・農村ギャラリー(愛称:ミノーレ)において、「グッドぐんまの農畜産物フェア」を開催しました。

イベントでは、「すき焼き応援県」として生芋こんにゃく・下仁田ネギ・春菊・しいたけ・上州和牛などの鍋物食材を中心に、旬の野菜・果物・加工品等自慢の品々を販売し、試食提供を通して来場者に魅力を伝えました。また、県産農畜産物を使用した「上州和牛すき焼き弁当」と「上州麦豚焼肉弁当」は、販売が開始されるとたちまち完売となる盛況ぶりでした。両日とも大勢の方にご来場いただき、高品質でおいしい群馬県産食材に関心を寄せていただきました。

孺恋高原キャベツ使用「サッポロー一番×全農 カップスター」好評発売中!!

サンヨー食品(株)は、本会とコラボレーションして開発した「サッポロー一番×全農 カップスター」を1月18日の「カップスターの日」より全国で発売しています。味は、「ピリ辛味噌ラーメン」と「塩タンメン」の2種類で、いずれもJA孺恋村の「孺恋高原キャベツ」をメイン具材として使用しており、「シャキシャキ食感」をしっかりと体感できる商品となっています。今回の取り組みを機に、群馬県の特産品である「孺恋高原キャベツ」の一層の認知度向上が期待されます。全国のAコープや量販店などで取り扱っています。



受付期間：通年

群馬産小麦

上州もみ切りうどん

群馬県
JAグループ
限定品!

「空っ風」に耐えて育つ上州小麦は粘りが強く、うどん用に適しています。挽きぐるみの上州粉100%でみずみずしさが長持ちする「もみ切り打ち(めん)に凹凸を入れています」で仕上げたうどんは、上州小麦の香りともちもちした味わいをお楽しみいただけます。
JAグループ群馬限定の一品。ぜひ、ご賞味下さい。

ゆで時間：
7～8分

税込
価格

1,200円

1箱 380g×4袋入

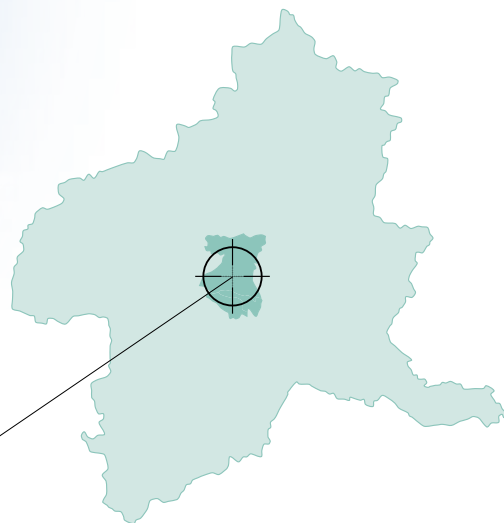
ご注文は JA全農ぐんま 生活課へ

TEL 027-220-2351 FAX 027-220-2324



農業 チャレンジ

JA北群渋川



「おいしい」と言ってもらえることがこの上ない喜び

JA北群渋川管内 飯塚 和哉 さん



飯塚 和哉
(いづか・かずや) さん

1979年生まれ、36歳。

栽培面積：下仁田ネギ…100a
長ネギ……………20a
玉ネギ……………100a
オクラ……………15a

趣 味：釣り・旅行

代々受け継がれてきた道

今回のチャレンジャーは、JA北群渋川管内でご家族と共に下仁田ネギなど露地野菜の生産を行う飯塚さんです。「小さい頃から実家の農作業を手伝っていたこともあり、昔から農業は身近な存在でした。自衛官などの職業経験を経て、やがて家業を継ぎたい気持ちができ24歳の時に就農しました。」と経緯を話してくれました。また、就農当初について、「実際に商品としてきちんとした物を仕上げることは大変で、最初の内は苦労しました。しかし両親が作り上げた基盤がしっかりしていたおかげで、スムーズに技術の習得ができたので、感謝しています。」と振り返ります。今年で就農12年目。後継者として、長年受け継がれてきた家業に使命感を持ち励んでいます。

「食」を支える仕事にやりがい

12月初めから出荷の最盛期を迎える下仁田ネギ。飯塚さんのお宅では、日中に収穫をし、夜はサイズごとの仕分けや袋詰め、出荷のための荷造り等を行っています。「農作業は一つ一つ手間がかかりますが、生きていくのに欠かせない“食”を支

えているという大きなやりがいがあります。さらには、食べてくださった方から「おいしい」と言っていただけでこれ以上嬉しいことはないですね。」と飯塚さん。「自分自身も食べることが好きなので、自分で作った物をおいしく食べられることにも幸せを感じます。」と笑顔を見せます。

変化に対応できる農業を

そんな飯塚さんに今後の展望を伺うと、「採算の合わない物は、見切りをつけて切り替えることも大切だと思っています。祖父母の代まで続けていた養蚕やその他の品目も時代の流れとともにやめ、今では野菜栽培1本に絞っています。TPPへの参加で、農家は栽培品目の取捨選択を迫られることになるかもしれませんが、今までのように条件とケンカするのではなく、時代の変化や消費者ニーズに柔軟に対応した農業を行っていきたいです。」と話してくれました。

いずれ経営者となる自覚を持ち、前向きに取り組む姿に今後一層の活躍が期待されます。



1 収穫作業をする飯塚さん。「良い物を作るのは当然。作業効率を良くすることが常に課題です。」と話します。

2 一つ一つ手作業での袋詰め作業。

3 トラクターで犁をかけ、土をやわらかくします。下仁田ネギは、寒冷地での栽培に適しており、霜にあたることでより甘みが増すといえます。

4 「鍋にはもちろん、そのまま焼いてネギ焼きにしても、蒸して温野菜にしても甘みを感じておいしいです。」と教えてくれました。

がんばってまーす!

INTERVIEW

JA碓氷安中
農産物直売所「まゆっ娘」 店長

中島 俊雄さん

Profile

なかじま・としお（42歳）

趣味.....スキー・野球
休日の過ごし方.....ドライブ・ショッピング
（関東近郊の直売所巡りをしています。）
「まゆっ娘」のおすすめ商品.....下仁田ネギ・ナス・玉ネギ・梅干しです。
あとは、ロマネスコ・プチペール・アレッタ・ちぢみほうれん草
等の振興作物も一押しです。

「今までにない直売所を作りたい」

——「まゆっ娘」で働き始めてどのくらいですか？

ここはおとしの8月にリニューアルオープンしたばかりなので、まだ1年ちょつとの新米店長です。

——仕事内容を教えてください。

お客様に安全・安心で新鮮な農産物を提供することを目的に、店舗運営・商品管理・販売接客等、店舗に係わるほとんどの業務を行っています。

——こちらに配属される前はどのような仕事をしていたのですか？

共済課で長い間事故担当者をしていました。その後、戦略室で5か月間こちらの直売所の立ち上げに関する業務に携わりました。あらゆる店舗開店準備に追われた怒涛の5か月間でした。当時は、まさか自分がそのまま店長になるとは思ってもいませんでした。

——実際に店長となりいかがでしたか？

JA碓氷安中管内初の直売所だったため、店舗運営のノウハウを1から作り上げなければならなかったため大変でした。従業員、また周囲の方々の協力もあ

り、おかげさまで1年半経ちようやく落ち着いてきましたね。

——接客をする上で心がけていることはありますか？

一度ご来店いただいたお客様には、必ずまたご来店してもらいたいとの思いで丁寧な接客に努めています。常連さんとの交流も大事にしており、今ではその人の顔を見ただけで何を買いに来たかわかるほどです。

——安全・安心な農産物を提供するために行っていることはありますか？

出荷して下さる組合員さんに毎日「栽培履歴日誌」を出してもらうことで、品質の管理を徹底しています。

——どんな時にやりがいを感じますか？

「野菜が新鮮でおいしかったからまた来たよ。」という言葉を書いていただくと嬉しいです。また、ここは軽井沢に近いので、県内外の観光客の方々にも多く利用していただけるので励みになります。

——趣味はスキーとのことですが。

はい。指導員の資格を持っており、選

手として引退してからは、安中市スキークラブの事務局長も務めています。

——かなりの腕前の持ち主ですね。

趣味の域を超えてしまっているかもしれません。(笑) これからの時期、休日は安中市内や県内で開催されるスキー行事の手伝いで忙しくなります。

——では、最後に今後の意気込みをお聞かせください。

直売所のイメージを変えたいと思っています。店舗内を清潔に保ち、整理整頓し、お客様が商品を買やすい、きれいなお店を作ることが目標です。これからも向上心を持って頑張っていきます！

——中島店長、「まゆっ娘」を素敵な直売所にしてください。ありがとうございました！



▲今が旬のちぢみほうれん草とブロッコリーを手にする中島店長。

畜産ダイジェスト

酪農情勢

■生乳生産量

農林水産省は12月25日に11月の牛乳乳製品統計を公表した。11月生乳生産量は58万8,497tで前年に比べ0.8%増加した。北海道は31万1,116t(前年同月比2.1%増)で生産量の全国シェアは53%となった。

都府県の生産量は27万7,381tとなり、前年同月比で0.6%減少した。

■販売及び乳製品情勢

11月の用途別処理量は、牛乳等向けが32万8,559t(前年同月比1.2%増)、乳製品向けが25万5,325t(〃0.4%増)となった。

飲用牛乳等生産量は28万8,881ℓ(〃0.3%増)で前月から0.7ポイント増加し、内牛乳が25万2,420ℓ(〃0.5%増)、また乳飲料は10万631ℓ(〃2.1%減)で前月より2.5ポイント増加した。

生乳生産量と用途別処理量

(単位：t、%)

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
生乳生産量	全 国	625,011	648,952	624,650	628,725	608,496	592,876
	群馬(委託実績)	18,539	19,033	17,853	17,612	17,190	16,517
	本会(委託実績)	5,955	6,116	5,719	5,542	5,300	5,168
用途別処理量	飲用牛乳等向け	322,457	347,312	349,033	338,115	322,777	337,971
	乳製品向け	297,955	296,945	270,983	285,841	281,149	250,222
	その他向け	4,599	4,695	4,634	4,769	4,570	4,683
前年対比	生乳生産量(全国)	99.7	99.8	100.9	101.8	101.4	101.6
	〃(群馬)	98.5	98.9	99.4	100.0	101.4	100.2
	〃(本会)	96.1	97.2	98.0	98.1	97.9	98.1
	飲用牛乳等向け	102.7	101.5	101.1	100.3	101.9	98.7
	乳製品向け	96.7	97.9	100.8	103.5	100.9	105.9
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	603,329	588,497					4,920,536
	16,976	16,729					140,448
	5,323	5,207					44,331
	343,924	328,559					2,690,148
	254,811	255,325					2,193,231
	4,594	4,613					37,157
	100.9	100.8					100.9
	99.9	100.0					99.8
	97.3	97.0					97.5
	99.5	101.2					100.9
	102.9	100.4					101.1

肉牛情勢

肉牛枝肉相場(1月予想)：牛肉は弱含み。昨年末に年々より2割ほど上げた反動が出る見通し。出荷のタイト感はあるが、高値からくる消費減退の影響が出る模様。

肉牛枝肉相場(予想)

・和牛去勢A5	2,750円中心	・和牛去勢A3	2,350円中心	・交雑去勢B3	1,600円中心
・和牛去勢A4	2,500円中心	・和牛去勢A2	2,030円中心	・交雑去勢B2	1,550円中心
		・交雑去勢B5	2,090円中心	・乳牛去勢B2	1,100円中心
		・交雑去勢B4	1,790円中心		

枝肉価格の推移(群馬県食肉卸売市場)

(単位：円/kg、税込み)

年・月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・計
和牛 去勢 A4	26年-27年	1,899	1,914	1,893	1,862	1,959	2,006	2,129	2,166	2,163	2,297	2,288	2,257	2,069
	27年-28年	2,283	2,349	2,252	2,255	2,349	2,395	2,455	2,539	2,754				2,403
	前年格差	384	435	359	393	390	389	326	373	591				334
和牛 去勢 A3	26年-27年	1,669	1,664	1,658	1,662	1,726	1,797	1,988	2,019	1,933	2,059	2,079	2,055	1,859
	27年-28年	2,098	2,132	2,080	2,085	2,106	2,133	2,228	2,349	2,485				2,188
	前年格差	429	468	422	423	380	336	240	330	552				329
和牛 去勢 A2	26年-27年	1,516	1,492	1,486	1,455	1,532	1,663	1,757	1,863	1,648	1,819	2,000	1,828	1,672
	27年-28年	2,026	1,848	1,866	1,956	1,832	1,909	1,989	2,167	2,275				1,985
	前年格差	510	356	380	501	300	246	232	304	627				314

群馬県食肉卸売市場上場頭数・全国と畜頭数

(単位：頭)

年・月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・計
26年-27年		1,291	1,098	1,104	1,262	1,068	1,216	1,232	1,465	1,385	1,005	1,091	1,012	14,229
27年-28年		1,085	946	907	1,151	871	1,004	1,084	1,390	1,321				9,759
前年格差		▲ 206	▲ 152	▲ 197	▲ 111	▲ 197	▲ 212	▲ 148	▲ 75	▲ 64				▲ 4,470
全国 と畜 頭数	25年-26年	103,062	95,418	90,357	104,661	91,687	93,321	104,050	117,198	113,212	86,606	85,968	91,771	1,177,311
	26年-27年	99,464	91,001	90,327	102,267	88,474	95,800	105,092	110,615	109,345	85,310	85,824	92,201	1,155,720
	27年-28年	95,755	83,324	89,621	98,748	84,388	88,223	95,304	106,249					741,612
	前年比	96.3	91.6	99.2	96.6	95.4	92.1	90.7	96.1					98.2

■素牛動向

①和牛子牛	(去勢) 785千円平均 (前月比104%)	(雌) 684千円平均 (前月比105%)
②F1価格	(去勢) 250~300kg 1,439円/kg平均	(雌) 250~300kg 1,291円/kg平均
③全農・取引基準価格(乳去)	260~300kg 807円/kg平均 (前月比110.2%)	

養豚情勢

枝肉相場関係

群馬県食肉卸売市場（上物加重・円/kg）

※平成25年4月より相対を含む。（単位：円税込）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
25年-26年(A)		450	499	485	498	507	499	466	477	521	458	467	496	485
26年-27年(B)		553	582	621	580	548	548	517	569	609	547	588	565	569
27年-28年(C)		569	535	565	613	615	530	471	481	531				546
(B-A)		103	83	136	82	41	49	51	92	88	89	121	69	84
(C-B)		16	▲47	▲56	33	67	▲18	▲46	▲88	▲78				▲23

豚肉価格形成要因

群馬県食肉卸売市場と畜頭数（自家用と畜は除く）

（単位：頭）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間頭数
と畜頭数	26-27年	44,690	39,069	36,628	39,821	35,032	40,542	44,979	36,865	41,060	39,158	37,138	39,152	474,134
	27-28年	41,752	37,407	39,299	40,863	35,998	42,383	45,504	42,103	45,522				370,831
前年比(%)		93.4	95.7	107.3	102.6	102.8	104.5	101.2	114.2	110.9				78.2

肉豚生産出荷予測（全国） ※11月まで実績／12月以降の出荷予測は

12月24日付けで農水省畜産部食肉鶏卵課が発表

（単位：千頭、前年同月比%）

区分	月	8月	9月	7~9月	10月	11月	12月	10月~12月	1月	2月	3月	1月~3月	4月	5月
全国出荷予測頭数(千頭)		1,201	1,334	3,857	1,443	1,410	1,517	4,370	1,451	1,358	1,412	4,225	1,369	1,276
前年同月比(%)		98	100	99	101	109	103	104	108	106	103	106	100	102

■生産動向：農水省食肉鶏卵課の肉豚生産出荷予測によると、1月の出荷見込頭数は1,451千頭（前年同月比108%）となっている。その後は2月1,358千頭（〃106%）、3月1,412千頭（〃103%）と予想されている。豚肉相場は、下げ予想。輸入品の在庫の積み上げに加え、豚流行性下痢の沈静化に伴い出荷が例年並みに回復するため。消費は全体的に旺盛だが、部位によっては暖冬が影響し苦戦する模様。

鶏卵情勢

鶏卵相場関係

■Mサイズ基準値

価格の推移

平成28年1月180円（見込み） 90%（前年比）

（単位：円）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
26年-27年(A)		223	204	199	190	192	231	240	242	248	192	209	219	216
27年-28年(B)		227	230	223	213	219	247	250	252	255				235
(B-A)		4	26	24	23	27	16	10	10	7	0	0	0	19
全国基金	26-27年	0	0	0	2,088	0	0	0	0	0	2,907	0	0	
補填	27-28年	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

■価格動向：12月の平均単価は255円（前年同月＋7円）と前年同月を上回り、平成27年1月～平成27年12月期平均は228円（前年同期比＋6円）であった。

■出荷動向：暖冬の影響で産卵率が高く、卵重は増える傾向にあり、大玉を中心に滞貨が例年より多い。

■需要動向：おでんなどの業務向けは堅調。節分の恵方巻き向けの加工需要が入り、月末にはスーパーなどの特売も動きそう。

卵価要因

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
加工卵輸入	26-27年	2,286	2,314	2,393	2,427	2,137	1,974	2,273	1,877	2,192	2,067	2,542	2,231	26,713
実績(t)	27-28年	2,449	1,888	2,307	1,979	1,803	1,794	2,574						14,794
前年比(%)		107.1	81.6	96.4	81.5	84.4	90.9	113.2						55.4
餌付羽数	26-27年	8,205	8,291	8,405	8,408	7,048	8,622	8,071	7,369	8,295	7,941	7,764	8,734	97,153
(千羽)	27-28年	7,872	8,422	8,640	8,375	7,263	8,244	8,418	7,716					64,950
前年比(%)		95.9	101.6	102.8	99.6	103.1	95.6	104.3	104.7					66.9

■価格の推移

(1) 17年:204円 (3) 19年:169円 (5) 21年:175円 (7) 23年:188円 (9) 25年:207円
(2) 18年:184円 (4) 20年:193円 (6) 22年:194円 (8) 24年:181円 (10) 26年:216円

■原料情勢

①とうもろこし（シカゴ定期）

12月9日の米国農務省需給見通しでは、米国とうもろこしの2014/15年産は、供給量と需要量ともに見通しの変更はなかった。

2015/16年度は、供給量は15,415百万ブッシェルと前月発表から据置となった。需要面では、エタノール向けで25百万ブッシェル上方修正されたものの、輸出需要が50百万ブッシェル下方修正されたため、需要量全体では13,630百万ブッシェル（前月発表13,655百万ブッシェル）に下方修正された。期末在庫率は、需要量の下方修正により、13.10%（前月発表12.89%）に増加した。

産地では収穫作業を終え、需給相場に移行している。直近では11月30日に米環境保護局がエタノールを含む再生可能燃料の目標値を上方修正したことから、米国産とうもろこしのエタノール向け需要が上方修正されたものの、南米産とうもろこしが輸出市場に出回ることによる米国産の輸出需要の低下から、上値は重くほぼ横ばいに推移している。

シカゴ定期は、アルゼンチンの新大統領がとうもろこしの輸出税を減税させる方針を出しているものの、実施時期が定かでないため、相場への大きな影響はまだ見られていない。12月の米国農務省需給見通し発表以降、相場はもみ合いながら370セント/ブッシェル後半で推移している。

②大豆粕

12月9日発表の米国農務省需給見通しによると、米国大豆の2014/15年産について、前回発表から変化なく、供給量4,052百万ブッシェル、需要量3,861百万ブッシェル、期末在庫191百万ブッシェル、在庫率4.95%となった。

米国大豆の2015/16年産について、前回発表から変化なく、供給量4,203百万ブッシェル、需要量3,738百万ブッシェル、期末在庫465百万ブッシェル、在庫率12.44%となった。

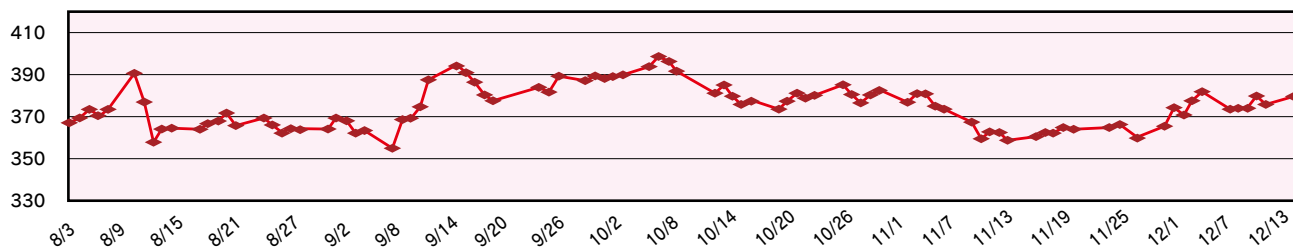
大豆粕のシカゴ定期は、消費国の需要動向に影響されながら1月限は270ドル台前後で推移している。

■海上運賃

直近の米国ガルフ～日本間のパナマックス型運賃は、先月に引き続き輸送需要が低調なことから軟調に推移している。今後も輸送需要の急激な増加は考えにくいことから、当面は軟調な展開となる見通し。

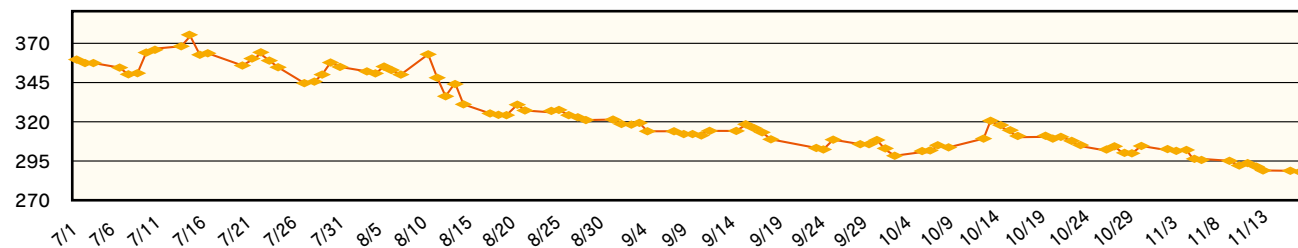
セント/ブッシェル

トウモロコシ 期近限月



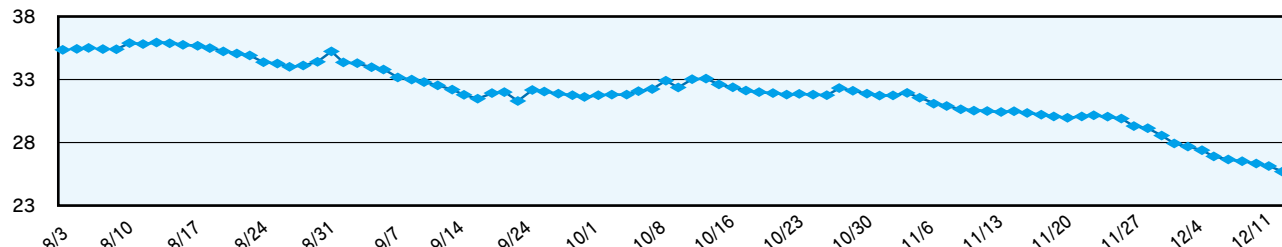
セント/ブッシェル

大豆粕 期近限月



ドル/トン

【海上運賃】



花木流通センター便り

花木流通センターの耳寄りな情報をお届けします！



今年も北海道産種じゃがいもの販売の季節がやってきました！園芸資材館では、男爵・キタアカリ・メークイン・とうや・インカのめざめなど数多くの品種を取り揃えており、規格も豊富です。また、プランターでも栽培できるSサイズだけを集めた種じゃがいもの販売も開始します。今年はぜひ、美味しいじゃがいもをご家庭で栽培してみてください。皆様のご来店を心よりお待ちしております。

2月の売出し・イベント案内

色々な売出しやイベントが目白押し。ぜひお出かけください！

開催日	内 容
2月19日(金) ～22日(月)	春一番園芸フェア
2月20日(土) 10:00～	じゃがいも栽培講習会 & マメトラ管理機講習会 【参加費無料・申込み不要】
2月20日(土)	JA農畜産物フェア 上州牛試食販売会

※売出し・イベントの日程・内容は変更になる場合があります。



花と緑あふれる広場
KABOKU
花木流通センター

営業時間:年中無休/9:00～18:00

(節電のため7月～2月毎週火曜日定休)

取扱商品

■園芸資材館/営農・園芸資材等 ■ふらわーらんど/鉢花、花苗等 ■JA植木コーナー/緑花木、盆栽等 ■エクステージ/外構・造園工事等 ■ブランド野菜館/産直野菜、農産加工品等 ■外売場/野菜苗、大型肥料・用土、植木鉢等



お問い合わせ先

前橋市亀里町1307-1
TEL:027-220-2427
FAX:027-220-2424

やさいひるば
JA直販 愛菜館

営業時間:毎週火曜日定休/9:00～18:00

取扱商品

■産直野菜
農産加工品/店頭精米等



お問い合わせ先

前橋市古市町106-1
TEL:027-210-7788
FAX:027-210-9811

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて

『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

《あて先》

〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310番
「県本部通信」係まで

E-mail: info-gunma@gm.zennoh.or.jp

※JAメール等でも結構です。

プレート
キャンバスに
見立てて

Art Cooking

Food adviser - 石垣 恵美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。



ハニーナッツのブルーチーズトースト ホットチョコレート

材 料 ハニーナッツのブルーチーズトースト
1人分 (1人分513cal)

ミックスナッツ……………20g ハチミツ……………大さじ1
ブルーチーズ……………25g 黒パン……………2枚

作り方

- 1 ミックスナッツは粗いみじん切りにする。
- 2 ブルーチーズは細かく切る。
- 3 小ボールに1・2とハチミツを入れ混ぜる。
- 4 パンの上に3の具材を乗せ、オーブントースターで4～7分焼く。(チーズが溶けパンがカリッとするまで。)

材 料 ホットチョコレート
1人分 (1カップ分325cal)

ココア……………大さじ1 ブラックチョコレート……………20g
ミルク……………1カップ ハチミツ……………大さじ1

作り方

- 1 小鍋にココアを入れ、温めたミルクを少しずつ加える。
- 2 1を火にかけ、刻んだチョコレートを加え溶かし、ハチミツを入れる。
- 3 温めたカップに2を入れる。